

活動レポート

北方海域技術研究会

文責：北方海域技術研究会幹事 藤井淳夫

『H21 年度 第 2 回定例会』および『H22 年度 総会・特別講演』の報告

1. はじめに

北方海域技術研究会では、2010 年(平成 22 年) 2 月 18 日に平成 21 年度の第 2 回定例会を札幌アスペンホテルにて開催し、続いて 4 月 23 日に平成 22 年度の総会・特別講演をかでの 2・7 (820 研修室)で開催しましたので報告いたします。

2. 『平成 21 年度 第 2 回定例会』

第 2 回定例会では、参加者は 31 名でした。始めに、講演 1 として 2009 年(平成 21 年) 10 月 28 日に開催した「第 1 回定例会(現地視察会)報告」を当研究会の氏井健一幹事より報告いただきました。内容は、北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所様のご協力による苫小牧西港区の港湾業務艇からの乗船視察に関する報告でした。



講演する氏井健一氏

次に、講演 2 として公立はこだて未来大学 教授 長野章氏に「我が国における離島半島の価値と



講演される長野章教授

公共事業」と題してご講演いただきました。

海洋基本法と離島、海洋産業の定義と離島、国境周辺の有人離島の国家的役割と評価など、離島の果たす役割の重要性および漁港漁場漁村整備をもっと広義に捉える必要性など大変興味深い内容のご講演でした。

講演 3 では、北海道開発局港湾計画課 港湾企画官の遠藤仁彦氏に「最近の港湾事情」と題して、北海道の港湾を発展させるためには、時代環境に合ったプロジェクトや技術が必要で、これからの技術者は発想力、想像力、応用力、柔軟性が求められることから、ますます技術士の活躍が期待されていることをご講演いただきました。



講演される遠藤仁彦氏

また、その後の意見交歓会は、同じ札幌アスペンホテルで行い、23 名の方が参加されました。第 2 回定例会の講演内容と講演者は表-1 のとおりです。

表-1 講演内容と講演者

講演内容	講演者
講演1 「第1回定例会(現地視察会)報告」	北方海域技術研究会 氏井 健一 氏
講演2 「我が国における離島半島の価値と公共事業」	公立はこだて未来大学 教授 長野 章 氏
講演3 「最近の港湾事情」	北海道開発局港湾計画課 港湾企画官 遠藤 仁彦 氏

3. 『平成 22 年度 総会・特別講演』

平成 22 年度 総会・特別講演の参加者は、50 名でした。



講演会全景

まず、講演 1 として、水産庁 漁港漁場整備部 計画課 総括課長補佐 石井馨氏より「水産公共施策策定・評価手法と当該手法による水産地域の分析に関する研究」と題して、漁業地域が有する多面的な機能の発揮に資する水産公共施策の広域的な効果を定量的に評価する手法についてご講演いただきました。具体的には、水産業及び漁業地域の多面的機能、水産公共施策の広域な効果は、産業連関分析により定量的に把握することが必要であり、その評価に基づき、広く国民の理解を得ながら効果的・効率的に推進する必要がある。という内容でご講演いただきました。



特別講演される石井馨氏

講演 2 では、はまなす財団 事業部部長 石川満寿夫氏に「低炭素型水産物流通への新型急速冷凍・冷蔵技術の導入」の主題、一北海道の自立的地域再生を目指して一の副題でご講演いただきました。北海道の食料供給地としての現状、資源の再認識、自立的地域再生の活路としての鮮度保持技術、低炭素型流通確立の必要性をご説明いただき、水産

業の鮮度保持技術の現状、新型急速冷凍・冷蔵技術の現状の導入状況と今後の可能性、実現可能な地域再生の姿について事例紹介を交えながらご講演いただきました。また、その後の意見交歓会は、札幌 KKR ホテルで行い、22 名の方が参加されました。



特別講演される石川満寿夫氏

なお、平成 22 年度 総会・特別講演の講演内容と講演者は表-2 のとおりです。

表-2 講演内容と講演者

講演内容	講演者
講演1 「水産公共施策策定・評価手法と当該手法による水産地域の分析に関する研究」	水産庁 漁港漁場整備部 計画課 総括課長補佐 石井 馨 氏
講演2 「低炭素型水産物流通への新型急速冷凍・冷蔵技術の導入」	はまなす財団 事業部 部長 石川満寿夫 氏

4. おわりに

平成 21 年度の第 2 回定例会、平成 22 年度の総会・特別講演の両会とも講演者の方々には、快く講演をご承諾いただき誠に感謝いたします。どの講演者の方々も北海道の産業の現状と課題を交えて、今後の北海道の発展に対して期待が持てる内容のご講演をいただき、質疑応答も含め大変有意義な時間を過ごさせていただいたことを、この場をお借りして御礼申し上げます。

また、講演会後の意見交歓会でも活発な情報交換が行われましたことを合わせてご報告申し上げます。

北方海域技術研究会では今後も講演会などの開催を予定しております。会員の方は勿論、会員以外の方も歓迎致しますので是非御参加いただきますようお願い申し上げます。